

■病院概要

施設名	医療法人真正会 霞ヶ関南病院
所在地	〒350-1173 川越市安比奈新田283-1
開設年	1987年(昭和62年)
敷地面積	6554.23㎡
延床面積	11,433.87㎡
構造	RC造
階数	5階
診療科目	内科/皮膚科/眼科/歯科/リウマチ科/整形外科 リハビリテーション科/泌尿器科
病床数 (種別)	199床 回復期リハビリテーション病棟 123床 障害者施設等一般病棟 37床 医療療養病棟 39床
併設事業所	デイホスピタル(通所リハビリテーション) SKIPトレーニングセンター



霞ヶ関南病院

〒350-1173
川越市安比奈新田283-1
☎049-232-1313
FAX 049-233-0981
URL <http://www.kasumi-gr.com/>
E-Mail info@kasumi-gr.com

■外来のご案内

- 診療科目
内科/皮膚科/眼科/歯科/リウマチ科/整形外科
リハビリテーション科/泌尿器科
- 診療時間
平日 [午前] 9:00~11:00
[午後] 14:00~16:30
土曜日 [午前] 9:00~11:00
*診療30分前より受付開始。
*日、祝祭日、年末年始は休診とさせていただきます。
*診療科により、診療日、時間が異なる場合があります。また予約が必要となることもありますので、初診の方はあらかじめご確認ください。
- 外来予約 ☎049-239-7272(専用) FAX 049-239-6565

■入院のご相談について

- ①医療福祉相談員あてにお電話ください。
TEL049-232-1313(霞ヶ関南病院代表)
…回復期リハビリテーション病棟、障害者施設等一般病棟、
医療療養病棟
- ②現在のお身体の状態などについて簡単にお話をお伺いいたします。
- ③ご来院できる日程をお伝えください。(病院見学を兼ねて、入院相談をお受けいたします)



バス停

- ①「霞ヶ関南病院入口」[西武バス新狭1]笠幡駅→笠幡折返場
[西武バス新狭1-2]かすみ野行
- ②「霞ヶ関南病院」川越シャトル[24](川越駅・南大塚駅経由)
- ③「安比奈新田」川越シャトル[24](川越駅・南大塚駅経由)

※掲載データは2012年12月現在のものです。
LV20131-2000

KASUMIGASEKI MINAMI Hospital

医療法人真正会 霞ヶ関南病院のご案内

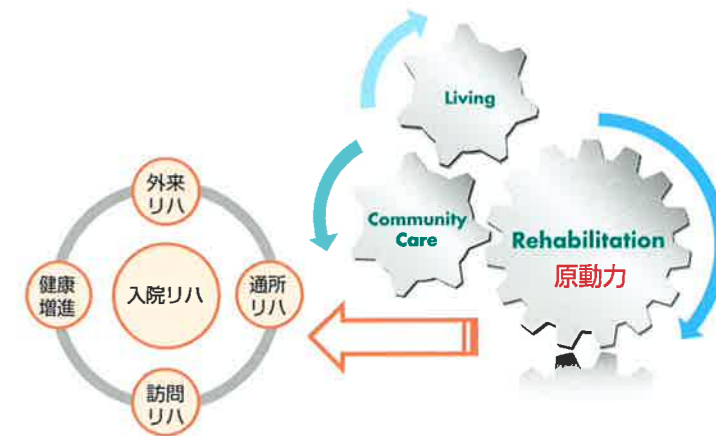
■沿革

- | | |
|-----------------|---------------------------------------|
| 1987年(昭和62年) | 100床にて診療開始 |
| 1988年(昭和63年) | デイホスピタル設置(霞ヶ関中央病院より移設) |
| 1990年(平成2年) | 在宅医療開始 |
| 1998年(平成10年) | 訪問看護ステーション「スマイル」開設 |
| 1998年(平成10年) | 療養型病床(127床)認可 |
| 1998年(平成10年) | 総合リハビリテーション施設認可 |
| 1999年(平成11年) | 在宅介護支援センター「かすみ」開設 |
| 1999年(平成11年) | 療養型199床に(72床増床) |
| 2000年(平成12年5月) | 回復期リハビリテーション病棟(やまぶき・42床)承認 |
| 2000年(平成12年7月) | 回復期リハビリテーション病棟(さくら・42床)承認、計84床 |
| 2001年(平成13年10月) | 回復期リハビリテーション病棟(すみれ・37床)承認、計121床 |
| 2002年(平成14年3月) | 回復期リハビリテーション病棟(けやき・37床)承認、計158床 |
| 2002年(平成14年4月) | 地域リハビリテーション広域支援センターの中核医療機関に |
| 2002年(平成14年6月) | SKIPトレーニングセンター竣工 |
| 2005年(平成17年10月) | アネックス棟増築 |
| 2005年(平成17年11月) | 財団法人日本医療評価機構 認定 |
| 2006年(平成18年4月) | 川越市地域包括支援センター「かすみ」開設 |
| 2006年(平成18年10月) | 障害者施設等一般病棟へ(ふじ) |
| 2007年(平成19年4月) | 障害者施設等一般病棟へ(すみれ) |
| 2007年(平成19年7月) | 一般病床199床→一般病床78床 療養病床121床へ |
| 2007年(平成19年8月) | 外来棟オープン |
| 2008年(平成20年8月) | BLENZ COFFEE オープン |
| 2008年(平成20年10月) | 医療療養病棟へ(ふじ) |
| 2009年(平成21年5月) | 通所介護「デイリビング」開設 |
| 2012年(平成24年8月) | 回復期リハビリテーション病棟123床へ
医療療養病床39床へ(ふじ) |



■当法人のリハビリテーション

“老人にも明日がある”という理念の下、5つの形態で適切なリハビリテーションサービスを提供します。



■チーム医療

さまざま職種が患者さまの病状に応じてチームを組み、患者さまが心身ともに健やかに生活が送れるよう、治療とサポートを進めます。



Medical treatment

安全と安心の医療を ベストのタイミングでご提供します

当病院の外来診療は、おもに地域の皆様、高齢者の方々の健康管理と疾病予防の観点から、生活習慣病に対する指導、慢性疾患の診療に重点をおいています。適切なときに適切な医療を行うために、血圧脈波検査装置、骨密度検査装置（超音波法）、超音波検査装置、胃透視診断検査（胃バリウム検査）、CTなどの診断検査機器を用いてさまざまな疾病の早期発見、早期治療に立って、生活習慣病の指導や管理栄養士による栄養指導も行っています。また、糖尿病、リウマチなどの慢性疾患の専門外来（要予約）も行っています。



CT(コンピューター断層撮影装置)



MRI(磁気共鳴画像診断装置)



診察室



歯科診療室

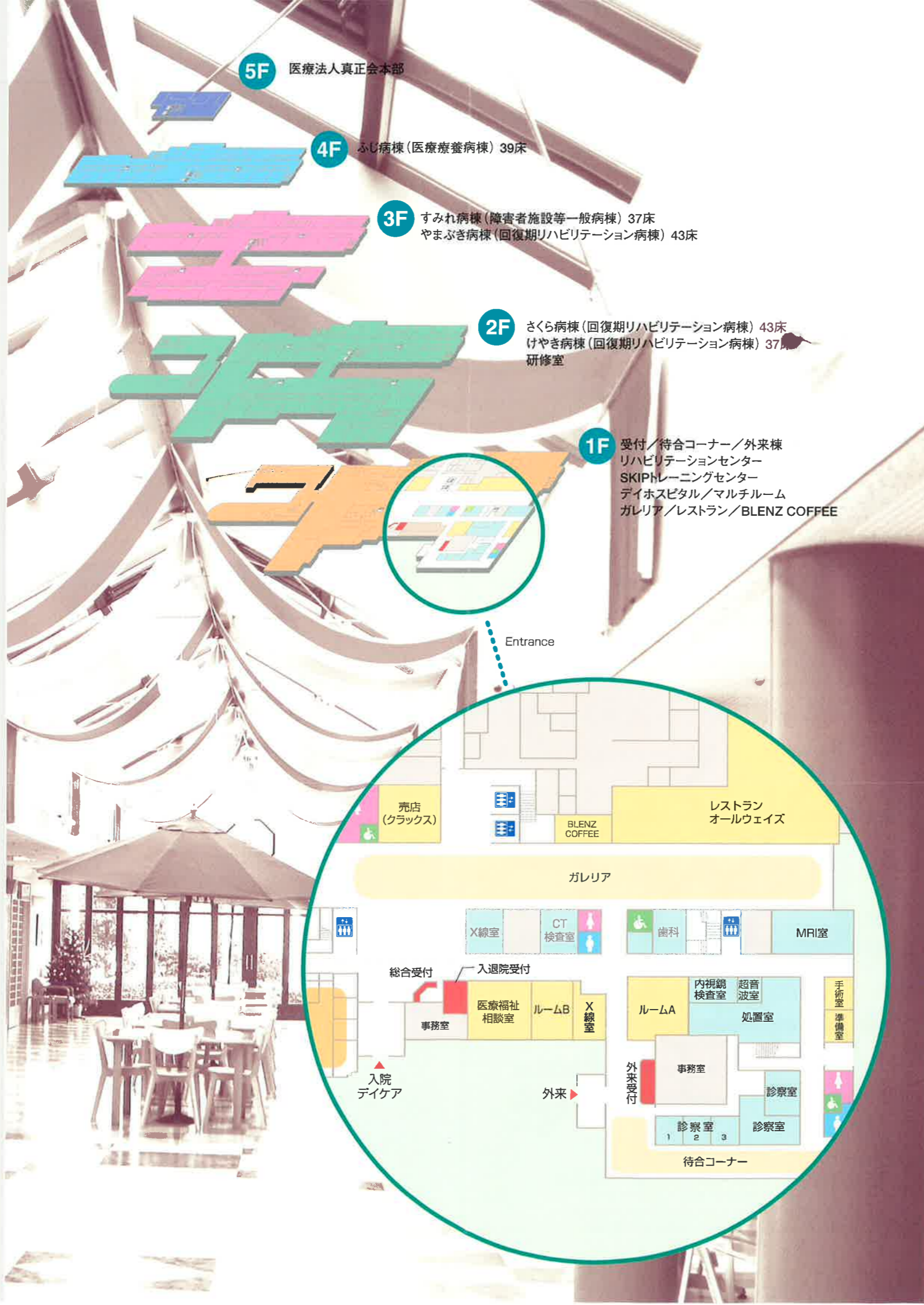
Rehabilitation

アフターケアが医療より、 さらに重要になることも考えます

病気や加齢などが要因となる障害のために、これまでのように生活を送ることが困難となった患者様が、身体機能を回復し、日常生活活動を改善することができるよう、自立支援、生活再建を支援。チーム全体で策定されるケアプランに沿って理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、レクリエーションワーカー（RW）が、それぞれの専門性をフルに発揮。回復期リハビリテーション、維持期リハビリテーション、終末期リハビリテーションに至るまで、全力でサポートします。



リハビリテーションセンター



Hospitalization

より良い入院環境が 患者様に及ぼす効果は計り知れません

退院はゴールではなく通過点。当院では入院される患者様に対する、事前のアセスメントから、ケアカンファレンス、退院計画に至るまで、常に退院ではなく「その後の人生」を考慮した適切なケアを展開するよう、心がけています。

また、医療やリハビリテーションに限らず、入院期間中の生活すべてが回復を促す重要なポイントです。私共は病棟内を患者様にとっていかに快適なスペースとするかを、常に念頭に置いた環境づくりに努めています。食事に関しても栄養管理の徹底はもちろんですが、会席風の盛りつけにするなど、見た目にも工夫をこらすことで「毎日の楽しみ」となるよう、その演出にも配慮しています。



収納家具等を備えた4人部屋



病棟内食堂

Amenity

治療する人、療養する人、大切な人を託す人 すべての人が快適でいられるように

ギャラリーや小ホールなど、院内の各所を地域住民の方に解放しています。待合コーナーやマルチルーム、食堂などのパブリックスペースは、晴れた日には日差しが降り注ぐ明るい空間となり、雨の日にはしっかりと落ち着いた雰囲気でご来訪の方を包み込みます。日常生活を重視し、患者様の他、当院を訪れるすべて皆様に明るく開放的な雰囲気の中で過ごしていただけるよう、内装やインテリアにもさまざまな配慮をしています。



外来受付



デイホスピタル中庭



待合スペース



レストラン・オールウェイズ